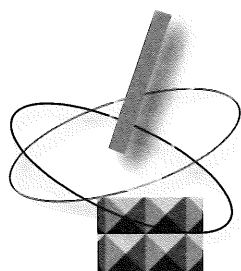


戦略必達の組織体質をつくる 人材障壁の克服

(同時発表：アンケート回答が示す有力企業の動向)



■講師 (株)現代経営技術研究所
所長 大槻裕志
上級主任研究員 大島和義
主任研究員グループ 須賀健太

■日時 2014年11月5日(水) 13:15～16:00

■場所 丸ビルコンファレンススクエア Room2

*裏面地図をご参照ください。

<プログラム>

- 13:15 I.基調講演:激変環境下の戦略必達の条件
.....現研所長 大槻裕志
1. 事業の崩落危機と新成長の機会の共存への洞察
 2. 永続的な組織風土改革の中で変革人材を育て続ける
- 13:40 II.「戦略実現への人材障壁の克服」
アンケート集計・分析報告
.....現研主任研究員グループ 須賀健太
- 有力100社の見方と取り組み
- ◆日本経済の今後の状況 ◆地域格差、都市集中の経営への影響 ◆自社の人材層の厚みと質 ◆自社のビジネスモデルの発展性 ◆自社の主要人材群の充足度 ◆目標管理制度への今後の取り組み ◆人材育成ー過去3カ年の振り返りと今後 ◆女性の登用への取り組み ◆経営トップの人事ー外部招へいの賛否・可否
- 14:15 コーヒーブレイク
- *参加者相互の名刺の交換もいたしますのでご用意下さい。
- 14:25 III.現研提言と討議
- *研究調査結果を活用して、以下の視点から提言をまとめる予定です。
- 本社スタッフ機能の変革ー戦略の現場で戦い抜くプロフェッショナル群をどうつくるか
.....現研上級主任研究員 大島和義
 - 人材障壁をこう克服するー変革を阻む組織体質の病理を壊し、人を育て活かす
.....現研所長 大槻裕志
- 討議:戦略必達の厳しさをどう明るく組織と個に浸透させるか
- 15:30 総括
2015年経営計画の着眼:人材構想の本格強化へ
- 16:00 終了

ごあいさつ

現研所長 大槻裕志

多くの日本企業が転機に立ち、これから出現する新環境に適応し、生存・発展を確保するために戦略を高度化せざるを得ない。この場合、高度化された戦略は、組織としてぶれないコンセプトを確立した上で、覚悟をもってやり抜かないと達成できないものです。とくに

●グローバル経営の拡大と深化

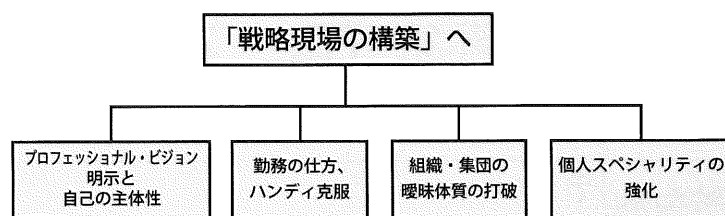
●ビジネスモデルの変革、進化、新規構築

は各社の喫緊の課題であるとともに長期戦略に根差すものです。この遂行の障壁となって立ち塞がるのが人材の問題です。

そのような観点から「人材障壁の克服」をテーマにしたアンケート研究調査を実施致しました。当研究調査の発表とともに現研としての提言も実施し、ぜひ多くの企業の方々にもご一緒にこの問題を考えて頂き、当研究調査を充実させたいと考えております。

ご参加をお待ち致しております。

グローバル化に対応する本社スタッフの条件



(作成:大島和義)



URL:<http://www.gen-ken.co.jp>

現研

(株)現代経営技術研究所

[本部]〒113-0033 東京都文京区本郷1-25-25日商連ビル TEL03-3813-7338(代) FAX03-3813-6964
[経営調査部分室]〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-17 ICNビル TEL03-3813-7910(代) FAX03-3813-7920
[ロンドン事務所] 8 St.Stephen's Court, Mayfield Road, LONDON N8 9NQ U.K. TEL44-20-8348-9681